



## 川崎学園創立10周年記念事業披露

パーティーにおける挨拶，祝辞記録

昭和56年5月10日(日)

於 総合体育館



# 川崎医学会誌「川崎学園創立10周年記念補冊」 発行にあたって

川崎医科大学

学 長 柴 田 進

昭和56年5月9日および10日に川崎医科大学10周年記念式が多数の来賓を迎えて盛大に挙行されました。文部省から宮地貫一大学局長，厚生省からは大谷藤郎公衆衛生局長，岡山県からは長野士郎知事，そして大学関係からは大藤真岡山大学医学部長，日本私立医大協会常務理事 浅田敏雄東邦大学学長，日本医学教育振興財団 懸田克躬理事長および病院関係では 岡山県病院協会 宮本祥郎会長が 御臨席下さって祝辞を頂戴しました。私達はこれらの来賓並びに当日御参集いただきこの大学の生長に祝意を表して下さいました，多数の方々に感謝致して居ります。

ここで私共が身にしみて有難く思いましたのは米国 Minnesota 大学医学部長 N. L. Gault 博士と Beth Israel 病院の M. T. Rabkin 博士が御多用中にもかかわらずわざわざ海外からおいで下さいましたこと，及び大阪大学学長山村雄一博士が大阪からお出ましいいただき，御三方とも我が大学の10周年をことほぐ記念講演をして下さいましたことです。

Gault 博士と Rabkin 博士は我が国の医学教育において最も立ちおけている卒後医学教育とプライマリーケアの教育についてお話し下さいました。そして英語の講演であったのに8階大講堂を埋める満堂の聴集に深い感銘を与えられました。

山村学長の“医科学の時代—その光と影—”はこれからの医学にヴィジョンと壮大な見透しを投げかけ，私達は大いに啓発されました。

最後に私は川崎医大の教員諸氏を代表させていただき，この大学の教育について述べさせて貰いました。

川崎医学会誌はこれまで川崎医科大学の機関誌としてこの大学から発表される業績原著および医学教育に関する論文を掲載し，最近とみにその内容が充実されたことを

喜びたいと思います。

ところで川崎祐宣理事長が10周年記念の講演が立派なものであったから、これを印刷し、ひろく多くの方々にも読んでいただきたいとお考えで、私にその方法についてお話しがありました。私は川崎医科大学の機関紙である川崎医学会誌こそ最も適切な掲載誌であろうとおすすめ申しました。

幸いにも川崎医学会誌編集委員会も御同意下さって、ここに御覧いただけるような補冊を出して下さいました。私は深く感謝するとともに川崎医学会誌が補冊を出し得るところまで生長したことをうれしく且つ誇らしゅう存じます。医学教育並びに将来の医学の見通しをつけるうえに、この補冊は有益なものであると信じます。

## 目 次

「川崎学園創立10周年記念補冊」発行にあたって……………	1
川崎医科大学学長 柴田 進	

---

### パーティーにおける挨拶・祝辞記録

川崎祐宣理事長あいさつ……………	4
文部省大学局長 宮地貫一……………	5
厚生省公衆衛生局長 大谷藤郎……………	6
岡山県知事 長野士郎……………	8
日本私立医科大学協会常務理事 東邦大学学長 浅田敏雄……………	10

---

### 乾 杯 の 辞

日本医学教育振興財団理事長・日本私立医科大学協会前会長 懸田克躬……………	12
--	----

---

### テーブル・スピーチ

岡山大学医学部長 大藤 真……………	13
岡山県病院協会会長・津山中央病院理事長 宮本祥郎……………	14

---

MEDICAL MUSEUM の概要……………	15
総合体育館の概要……………	17

---

### 川崎学園創立10周年記念講演

米国におけるプライマリーケアの教育 M. T. Rabkin 博士……………	21
米国における卒後医学教育の動向 N. L. Gault 博士……………	28
医科学の時代——その光と影——大阪大学総長 山村雄一……………	39
川崎医科大学におけるこれからの教育 川崎医科大学学長 柴田 進……………	48



## 川崎祐宣理事長あいさつ

ごあいさつ申し上げます。

川崎学園は昨年の4月に満10年を迎えました。

この間、皆様方の温かいご指導とご鞭撻をいただき、また私共の教職員と学生が努力いたしまして、教育、研究両面ともやっと軌道にのったかと思っております。

皆様方にその中味を視ていただきたく、また、10周年記念事業の一つとして計画しておりました現代医学教育博物館と、総合体育館がようやく落成いたしまして、これも視ていただきたく、ご招待申し上げます。皆様方には大変お忙しいところをおいでくださいまして誠にありがとうございました。謹んで厚く御礼申し上げます。

本学園の教育、研究が軌道にのったようでございますが、まだ基盤は非常に軟弱でございます。また、10年経過いたしますと教育路線も見直しを必要とすることがたくさんでてまいりました。

これからの10年間で、私共は基盤の強化と路線の改善に献身の努力を傾けていきたいと思っております。

今後とも皆様方のご支援をお願いいたしまして、私のあいさつといたします。

ありがとうございました。

## 祝 辞

文 部 省 大 学 局 長

宮 地 貫 一

本日は、川崎医科大学の創立10周年記念に際し、お招きをうけまして誠にありがとうございました。

このように地元関係者の方々にあわせて医学教育にたずさわっておられます方々が、大勢お集まりになられまして、川崎医科大学の10周年がお祝いできることは、誠に喜ばしいことでございます。

顧みますと川崎医科大学ができましたのは、昭和45年ですが、当時は戦後医科大学が新たに造られるようになりまして最初の年であります。たしかこの年は3校が認められたかと思えますけれども、今日まで10年この川崎医科大学がこのように発展されましたことは、理事長以下関係者の皆様方の変なご努力のたまものであると考えております。先程は、メディカルミュージアムを見せていただき、この総合体育館にまいったわけですが、私共国立の医科大学も、戦後無医大県解消ということで次々に医大が造られてきたわけですが、私学でなければこれだけの立派なものではできないという感を深くしたわけでございます。特に記念事業としてお作りになったメディカルミュージアムは、一般の方々にも開放されたシステムで、医学教育というものを広く一般にも理解を深めていただくような大変立派な施設で、なかなかこれだけのものは、とても全国にも作られないものと思って、感心させられたわけでございます。

川崎理事長は、医学教育について、特にユニークなすぐれた見識をもっておられるわけでございますが、今日医療の問題、医学教育の問題が毎日色々と新聞等で報ぜられているとおりの問題が多いわけでございます。私共これからも益々医学教育発展のために努力いたしたいと思いますが、さらにこの川崎医科大学が、今後10年20年とさらに一層の発展をされることを心からお祈りいたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。誠にめでとうございます。

## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

厚生省公衆衛生局長

大 谷 藤 郎

川崎医科大学10周年おめでとうございます。

ただ今、宮地局長からもお話がありましたように、私も先程からメディカルミュージアムをはじめ学園の諸施設をみせていただきまして、大変感心いたしました。

考えてみますと、昭和40年代のはじめ、世界でスチューデントパワーが荒れくるっておりますときに、我が国でも医学教育をはじめとして、学園の教育というものが非常に大きい社会問題となったわけでございます。

今日は、懸田先生をはじめ、その当時いろいろと医学教育の問題に心痛されました先生方が多数いらっしゃいまして、おめにかかり、私もなつかしく思うわけですが、そういった我が国の教育の苦しい時代を経まして、この川崎医科大学が創設されました。川崎祐宣先生は、いわゆる従来の研究センターの大学と違った地域医療、プライマリーケア、あるいは救急医療、そういった本来を志向した地域に即した臨床医を養成せんとする大学を作ると、このような熱意に燃えてスチューデントパワーの苦しい時代の中から、この大学が生まれ出たことをうかがっております。

今日つぶさに見せていただき、本当にいろいろな意味で新しい大学を目指しておられる姿を拝見して、深く感激いたしましたわけでございます。

しかし、我が国の医療の問題、21世紀の高齢化社会、あるいは新聞紙上でも取りざたされている国、地方をとわない財政危機の問題、そういった問題の中で、我が国の医療のあり方が再び厳しくとわれている時代がやってまいりました。

私は考えますと、昭和40年代のはじめ、また現在が新しい第2の嵐ではないかというような感じもするわけでございます。医学教育はもとより医療というものについて、いまその新しい取り組みが内外から要請されております。

川崎医科大学が、10年非常な発展を遂げられましたことに対し敬意を表しますとともに、これからの我が国の厳しい中におかれている医療、福祉の現状に対し、川崎医

## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

科大学が第2の石を投ぜられますことを心から願います。

今日は、お招きをいただきましてお礼を申し上げますとともに、こういったきびしい中で、川崎学園がますます発展されることを心からお祈りいたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。



## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

岡 山 県 知 事

長 野 士 郎

今日は、川崎学園創立10周年記念事業としてメディカルミュージアム、あるいは総合体育館がめでたく完成されましたお喜びの日でございます。心からお喜びを申し上げます。

10年というわけでございますが、とても10年というふうには考えられない、20年30年40年ぐらいたったのではないかと思われるほど数々の立派な学園の創設以来の諸事業、諸活動が、すべて川崎理事長の英断、先見性の中から生れてきたのではないかと、心から敬意を表するわけでございます。

昭和45年に医科大学、また附属高校が開かれ、48年には、看護婦、臨床検査技師など医療従事者養成のための医療短期大学ができあがった。またその11月には、近代施設をととのえた大変優秀なスタッフをもたれた高度の医療を供給される附属病院が開かれる。また54年には、救命救急センターが本県で最初の設立がみられる。このたびはメディカルミュージアムあるいは総合体育館というように、息もつかないほどのお仕事が次々に予定以上にできあがっていくことは、関係者のご協力もさることながら川崎理事長のご手腕によるもので、これに寄せる皆様方の信頼というものが、今日の実を結んだものではないかと思います。

これからの医療というものについては、いろいろと難しい問題があるかも知れませんが、私はやはり川崎理事長のように先を見通して、本当に立派な医師を養成され、またその関係者を社会に送り出していかれる。これからの時代はますます複雑に多様になってまいり、医療需要も大変複雑化、多様化されていくでありましょうが、それに応じ得るだけの人材の養成ということを常に心掛けていかれる。そしてそのすべてが世の先端をきって進んでおられることに対し、ただただ敬意と敬服の念を増すばかりでございます。本県にとりましても、いま地域医療の確保ということは大きな関心事でございます。

## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

また、メディカルミュージアムができて、医学知識の向上という点で、県民のたくさんの人にこれを開放されることになるわけでございます。

このように川崎医科大学は、医学の進歩と発展のために、また大勢の人達の医学知識の普及や向上のためにつくされる、そのご期待というものは、県民ひとしく心から感謝申し上げるものでございます。

どうぞこれからも川崎学園が一層の発展を遂げられまして、我が国の医学の進歩発展に貢献されますように、そしてまた地域医療のためにも一層の力添えを賜われますように、心からご期待を申し上げまして、私のお喜びのごあいさつにかえさせていただきます。

おめでとうございます。

## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

日本私立医科大学協会常務理事

東邦大学学長 浅田 敏 雄

日本私立医科大学協会会長 東京女子医大 吉岡先生のご都合が悪く、せんえつながら私が代わってごあいさつさせていただきます。

川崎医科大学にまいりますのは、これで5度目になりますが、毎年毎年訪れるたびに、大学の施設設備も変わっておりますし、その中味につきましても大変な変化をしてまいりました。いわば、岡山と倉敷をつなぎます吉備平野の真中に一大メディカルセンターが出現したと申しても過言でないと思います。医学と医療は日進月歩でございますけれども、その日進月歩の中で、だんだん問われてまいりましたものは、世界的にみまして医学教育のあり方が問われているのであります。どんなに新しい救急医療を試みようと思ひましても、救急医学教育を阻害したような医学教育の中で、本当の救急医療はなし得ないわけでございます。そのような意味で医学、医療の行きつきますところの原点は、医学教育にあると申して差し支えないのであります。国公立の医学教育は、いろいろご努力をいただいておりますけれども、やはり総定員法の縛りとか、あるいは予算のつき方とか、いろんな制約がありまして、非常に自由度が乏しい。そういう意味で、日本の私立医科大学は、現在29大学ありますが、この大学に求められておりますものは、社会の激変するニーズに対応した医学教育におきまして、新しい多様化を起こす新風をまき起こしてくるという意味にあるだろうと、私共は信じております。

この10年間に樹てられました川崎医科大学の歩みをみておりますと、理事長川崎祐宣先生、また前学長の水野先生、現学長の柴田先生と、本当にすばらしいチームワークの中で、私共が考えることのできなかつたようないろんな先導的思考錯誤をいたされております。完備いたしました視聴覚教育から、今日の現代医学教育博物館に至りますまでのいろんなお考えの中、そして我が国で初めてプライマリーケアに対応いたします総合臨床医学講座を作ったのも、この大学でございます。そういう中で、私共

## パーティーにおける挨拶・祝辞記録

はおそらく欧米を通じます近代国際的な水準の中で評価いたしました場合、日本の医学教育の先頭をきっているのが、この川崎医科大学であると申しても過言ではないと存じます。

今日、いろんな施設を見せていただき、その施設を貫くところのソフトウェアを思いますと、本当に実感をもってそのように思い、せまってるのでございます。

中国の言葉に「創業は易く、守成は難し」という言葉がございます。大学を作ることとはやさしいけれども、大学を守りぬき、生成発展させていくということは、大変難しいことでございます。

この10年にあたりまして、建学の理念、初心ますます堅く、また20年30年50年100年と盛世発展する川崎医科大学は、日本の医学、医療のシンボルとなるような期待をもちまして、私のごあいさつにかえさせていただきます。

どうも本日はおめでとうございます。

# 乾 杯 の 辞

日本医学教育振興財団理事長

日本私立医科大学協会前会長

懸 田 克 躬

今日お集りの皆様、私共きのう、今日と2日にわたって川崎医科大学10年の努力、私共が開学の時に期待した姿を10年の間に成し遂げられたその盛世期の姿を拝見し、本年は11年目で第2の10年の計画に入られたところをみて、また新たな期待をもってこの10年をみたいと思うわけでございます。この10年の成果を考えますと、今後10年の間におそらく充実の時期が実って、また新しい私共の日本の医学教育、特に私学の医学教育というものが、どのように独創的にあり得るかということを知ることができるとおもいます。

そのようになっていただきたいし、またそのようにおなりになるであらうという期待をこめて、川崎医科大学のために皆様と一緒に乾杯いたしたいと思います。

おめでとうございます、乾杯。

## テーブル・スピーチ

岡山大学医学部長

大 藤 眞

岡山大学を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げさせていただきます。

本日は、川崎学園の10周年の事業が完成され、ご披露がございまして、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

川崎医科大学が創設されてから10年、その間における大学当局並びに関係教職員の皆様方のご苦勞は、筆舌に尽くしがたいものがあつたとご推察申し上げます。本日拝見いたしまして誠に内容、外觀ともにまさに完成されました川崎学園をまのあたりに拝見いたしまして、地元の同じ地区の大学医学部の者といたしまして、誠に感無量のものがあります。

改めて、理事長 川崎先生をはじめ、皆様方に 深甚なる敬意を表する次第であります。

私共といたしましては、明治以来当地区におきますところの単一の医育機関であつたわけですが、11年前に 川崎医科大学という 大変強力な盟友機関を得まして、大変心強く思つてまいつた次第でございます。これによりまして当地区の医育、医療、また医学研究の面におきまして、一段と飛躍することができると大変期待をかけている次第でございます。

既に川崎医科大学におかれましては、5回にわたつて優秀なる医師を世に送り出されております。また医療面におきましても、かくかくたる業績を挙げておられるのでございます。誠にご同慶にたえないところでございます。

どうか本学園が今後ますます発展されまして、医科大学並びにその他の機関の使命を完遂せられまして、日本の医学研究、医療並びに医育の面におきまして、ご尽瘁あらんことを心から念願し、祈念いたしまして私の祝辞にかえさせていただきます。

おめでとうございました。

## テーブル・スピーチ

岡山県病院協会会長

津山中央病院理事長

宮 本 祥 郎

宴たけなわでございますので、簡単に一言申し上げます。

こんなすばらしい医学の殿堂、メッカができあがっております、どうぞ関係者の皆様方、地域社会の住民が幸福になりますように、どうぞご尽力をお願いいたします。

また医療界のためにも、我々をよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。まして、祝辞にかえさせていただきます。

ありがとうございました。



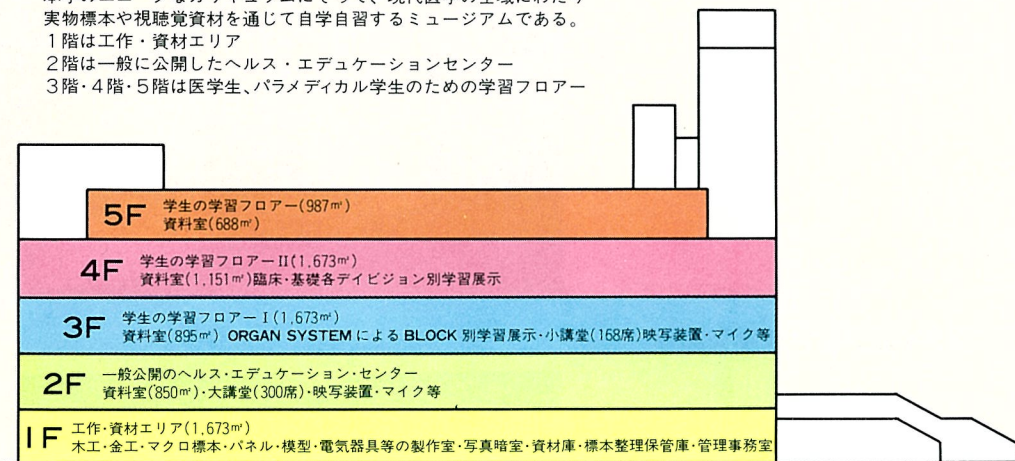
# MEDICAL MUSEUMの概要

本学のユニークなカリキュラムにそって、現代医学の全域にわたり  
実物標本や視聴覚資料を通じて自学自習するミュージアムである。

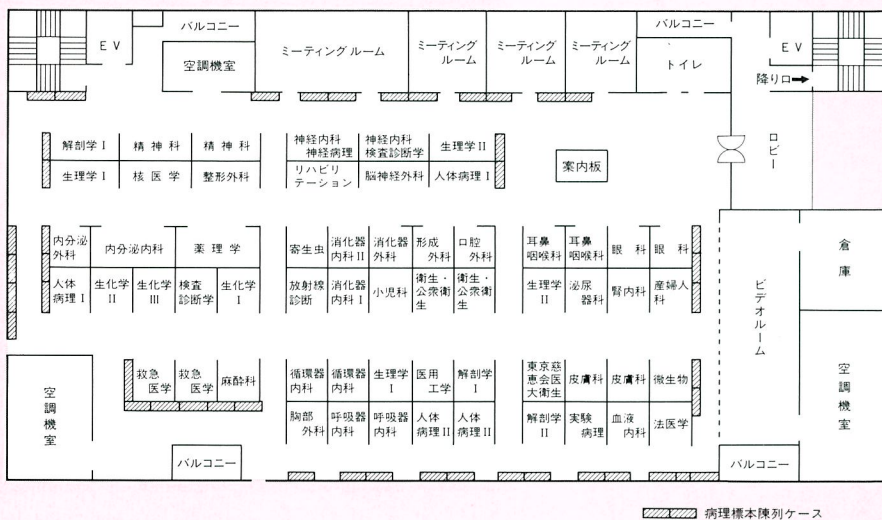
1階は工作・資材エリア

2階は一般に公開したヘルス・エデュケーションセンター

3階・4階・5階は医学生、パラメディカル学生のための学習フロアー



## 4階平面図





# MEDICAL MUSEUMの学内展示

## 2階ヘルスエデュケーション ミュージアム



## 4階ディビジョン別学習展示



## 4階病理標本展示



## 総合体育館の内部

体育館総合アリーナ



トレーニング室





# 総合体育館の概要

